

令和5年度 第2回我孫子市平和事業推進市民会議

1. 開催日時

令和5年7月18日（火）18時30分～20時

2. 開催場所

我孫子南近隣センター8階 第2会議室

3. 出席者

（委員）桑原会長、高須副会長、北嶋委員、見城委員、新谷委員（オンラインによる参加）、早乙女委員、根本委員、早坂委員、的山委員、矢作委員、山田委員、山元委員

（事務局）企画政策課：高見澤課長、大山課長補佐、仲田係長、葛生主任主事
社会福祉課：小池課長、小島課長補佐、田中主任福祉主事、小澤主事

4. 傍聴人

0名

5. 議題

- 1 開会
- 2 平和祈念式典について
- 3 手賀沼とうろう流しについて
- 4 中学生派遣事業について
- 5 平和の集いについて
- 6 その他
- 7 閉会

6. 議事

1. 開会

高見澤課長より全体の挨拶を行った。

2. 平和祈念式典について

(1) 原爆に関する写真と平和祈念の折り鶴展

社会福祉課より概要説明を行った。折り鶴を展示すると共に、今回のパネル展示については、原爆関連では無く、手賀沼公園内にある平和関連マップや記念碑、灯の説明といった市の平和事業に関連したものを中心に行うことを説明し、委員の同意を得た。また、委員へ展示作業について協力依頼を行った。

委員からは、展示を予定している写真等の使用許可の必要性や、手賀沼公園内の平和関連マップを展示するのであれば、前回の会議でも話題となった平和の木の古くなった説明看板を早急に新しいものにする必要があるのではないかと意見があった。

社会福祉課からは、戦後70周年記念誌等からの写真使用を検討しており、それらは市の平和事業として撮影し、作成したものであることから、現市民会議の皆さんの了承を頂ければ使用可能であると考えていると回答した。

企画政策課からは、看板については予算の確保が必要なため、1カ月で設置することは難しい。来年度設置に向けて検討すると回答した。

(2) 被爆78周年 我孫子市平和祈念式典

社会福祉課より、式典の概要説明を行った。式典の司会者を2名募り、立候補で早乙女委員と山元委員に決定した。詩の朗読については、読み上げる詩の案を提示して頂いた根本委員にお願いすることに決定した。

3. 手賀沼とうろう流しについて

企画政策課より平和祈念式典終了後に開催の手賀沼とうろう流しについては、開催が困難となったため中止とする報告を行った。なお、灯籠については、市長、教育長、令和5年度派遣中学生、市民会議委員分のみ作成し、原爆に関する写真と平和祈念の折り鶴展と併せて展示することを委員へ提案した。

委員からは、とうろう流しの開催時刻に合わせて、平和祈念式典の開催時間を夕方に変更している経緯がある。来年度もとうろう流しが開催出来ないということであれば、平和祈念式典を、以前のように午前中開催に戻しても良いのではとの意見があった。また、今後の課題として、別の場所で灯籠を流す検討や、流せていない灯籠の処置、別の事業の検討を行う必要があるとの意見があった。

なお、委員より、今年度の対応については、平和祈念式典当日に記念碑周辺に灯籠を展示したいと提案があったため、社会福祉課と企画政策課で会場設営業者に、

記念碑周辺への灯籠展示が問題無いか、改めて確認を行い、後日、結果を委員へ報告することとした。

4. 中学生派遣事業について

企画政策課より今年度の派遣について、行程を中心に説明を行った。

また、市民会議からの引率者は選考の結果、高須副会長、新谷委員に決定したことを委員へ報告した。また、事前説明会について概要説明を行った。

5. 平和の集いについて

(1) 平和の集い～我孫子から平和を願う～

企画政策課より、日程の報告、我孫子中学校演劇部の参加について確認がとれたことを報告した。委員からは新たなプログラムについて案の提示は無かったため、昨年度と同様の2部制のプログラム（1部派遣中学生による報告会、2部我孫子中学校演劇部による劇）で決定した。

チラシやポスターのデザイン作成者については、立候補で根本委員・早乙女委員に決定した。

(2) 「平和の集い」展について

企画政策課より、開催期間を報告した。また、展示作業への協力を依頼した。

委員からは、今年の派遣先である長崎の物を展示の中心としたいが、長崎市から展示物を借用できるのか質問があり、企画政策課から、借用できる旨回答し、内容については、次回の会議にて提示することとした。

6. その他

リレー講座について

企画政策課より、現時点で4校終了し、それぞれ参加いただいた市民会議委員を報告し、他の委員においても積極的に参加いただけるよう依頼を行った。

企画政策課より、講師・アシスタント勉強会について概略を説明した。

また、高須副会長から開催の意図・目的について委員へ説明を行った。

リレー講座に参加した委員からは、「授業内容がブラッシュアップされてきていると感じる。また、子どもたちの平和に対する捉え方が、随分変わってきたなという印象を持った。子どもたちに平和とは何ですかと聞くと、家族という回答が多かった。この2、3年でのコロナ禍の影響や、戦争を身近に感じる状況の中で家族の大切さを実感しているのだと思った。」

「戦争や平和が、子どもたちにとって身近なものになってきていると思う。だから余計にリレー講座等をがんばらなくてはいけないと思う。」

との感想があった。

その他、山田委員、見城委員から自らが取り組んでいる平和に関する事業について報告があった。

最後に、事務局から、次回会議について9月下旬から10月上旬の開催を予定していることを報告した。

以上